

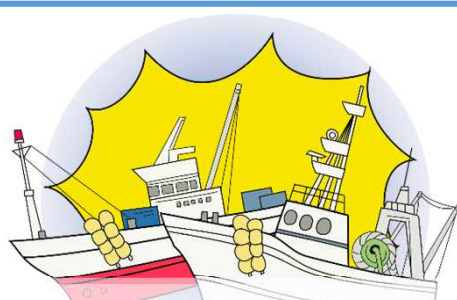
🍁 秋季安全推進活動(10/1~10/31) 🍁

毎年10月は「全国漁船安全操業推進月間」として、(一社)大日本水産会が漁業者の事故防止のため周知啓発キャンペーンを実施します。

海上保安庁においても同期間「**秋季安全推進活動**」として、漁業者に対する海難防止講習会や安全パトロール等を行い事故防止に努めます。



● 気象海象確認！



● 見張りの実施！



● 巻き込まれ注意！



● 足元に注意！



ライフジャケット
の着用



連絡手段
の確保



118
118番・NET118
の活用

第二管区海上保安本部
宮城県塩釜市貞山通3-4-1

海の安全推進本部
(代表) 022-363-0111

海の安全情報🔍

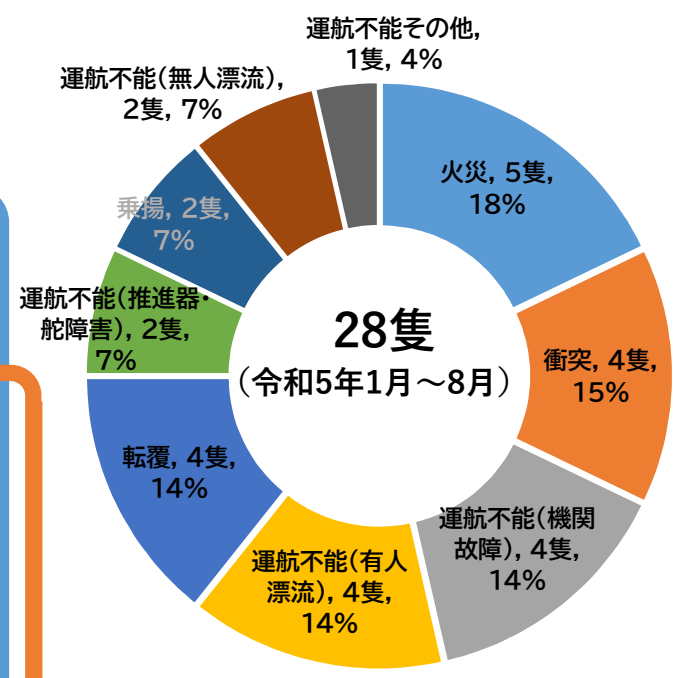
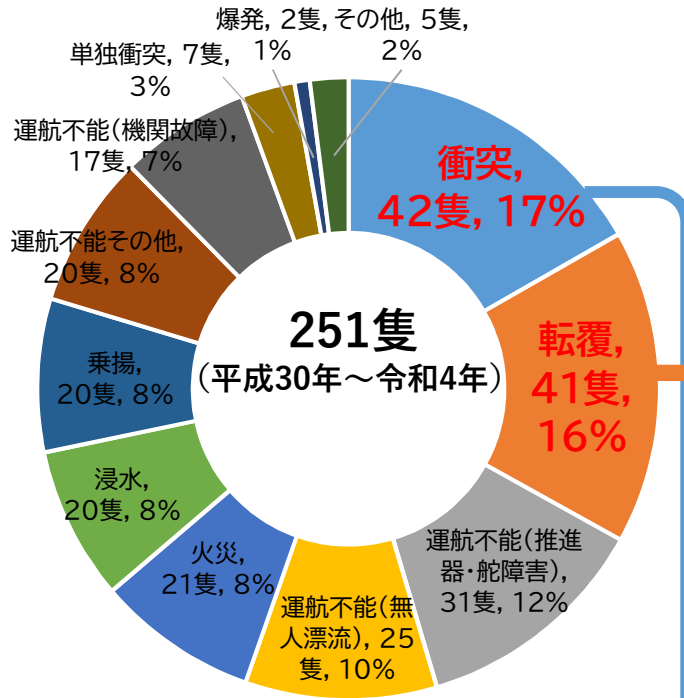


漁船かわら版🔍



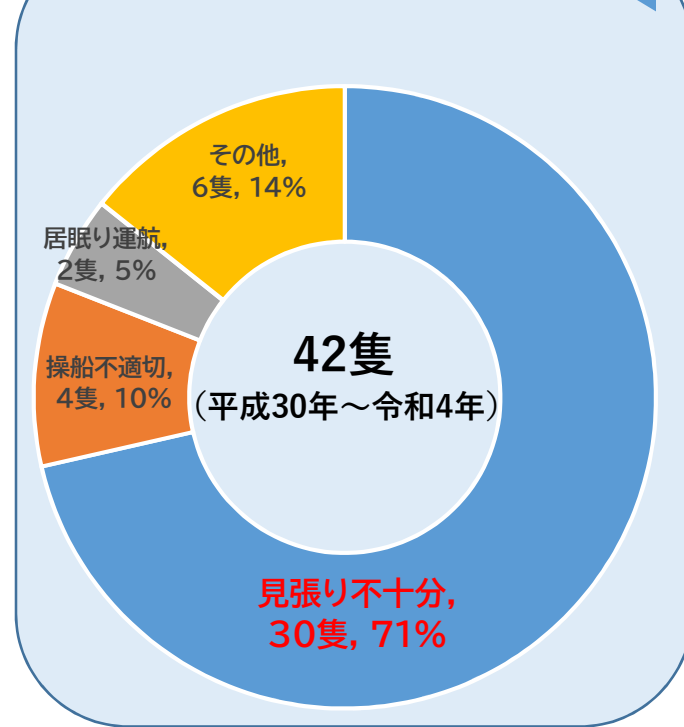
東北地方における漁船による船舶海難発生状況

海難種類別

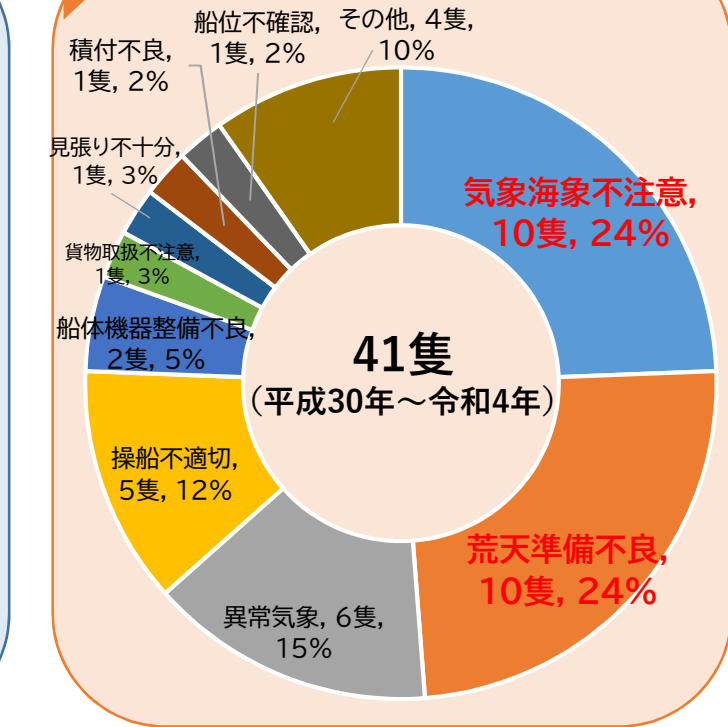


※ 令和5年の数値については速報値です。

衝突海難の原因別割合



転覆海難の原因別割合



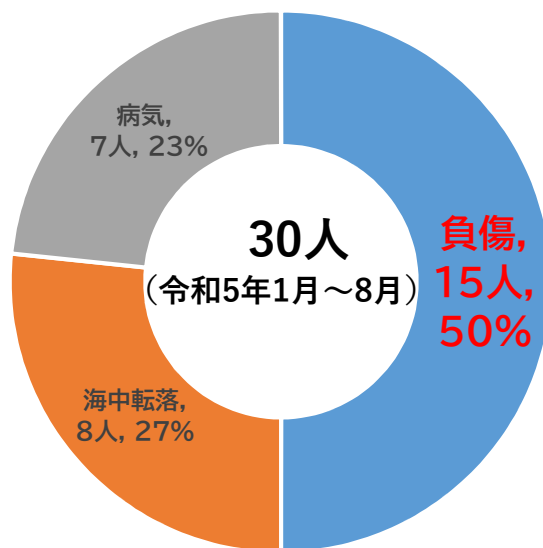
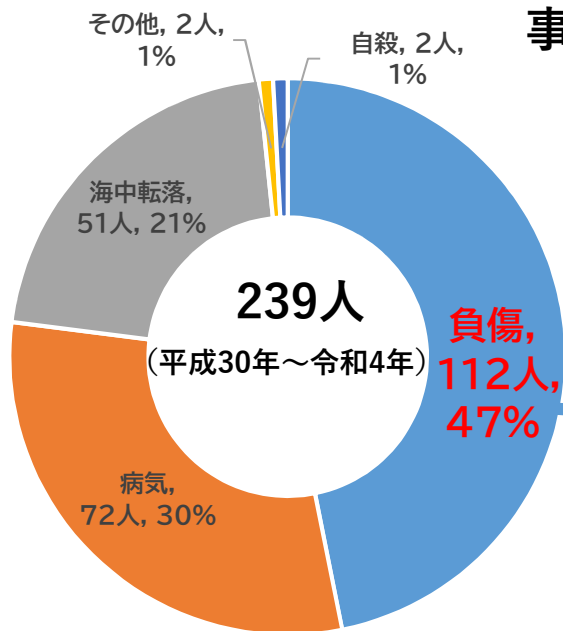
○傾向と対策

漁船の事故では**衝突**と**転覆**が多く、衝突の原因は**見張り不十分**が最も多い状況です。航行中・操業中は**双眼鏡**、**レーダー**なども活用して**適切な見張り**を実施し、自船が避航船にあたる場合は**早期かつ大幅に避航動作**をとりましょう。

また、転覆の原因は**気象海象不注意**と**荒天準備不良**が約半数を占めます。「海の安全情報」等で最新の気象情報を確認し、悪化が予想される場合には**出港の取り止め**や**早期帰港**の決断をしましょう。

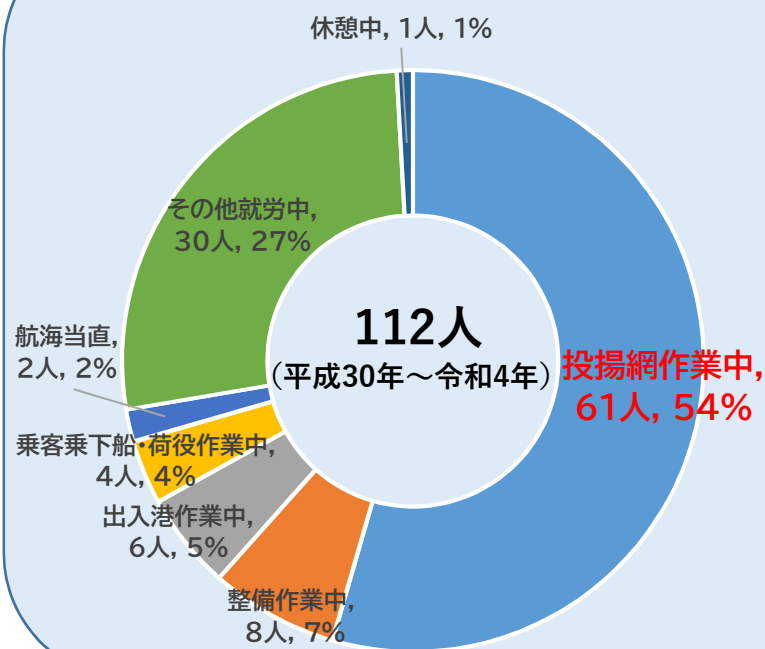
漁船乗組員による人身海難発生状況

事故内容別



※ 令和5年の数値については速報値です。

負傷事故発生時の状況



●巻き込まれ注意!

○傾向と対策

漁船乗組員による人身海難では**負傷**が最も多く、**投揚網作業中**に最も多く発生しています。特に、ローラー作業に伴う負傷が多いことから、作業を行う際は、以下に注意しましょう。

- ①手袋、作業着が**巻き込まれない**ように注意
- ②ローラーに漁具が絡まる等トラブルが発生した際は、**停止してから対処**
- ③巻き込まれた際、すぐに停止できるように**複数人**で作業
- ④1人乗り漁船は事故の早期発見のため**僚船や陸上と定時連絡**